

独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
令和7年度 研究倫理審査委員会（安全分野） 議事要旨

開催日時：2026年3月4日（水） 14時00分～16時00分

開催場所：Web開催：Zoom ミーティング

出席委員（敬称略）：瀬尾明彦（委員長）、畠中順子、松原健一、日野泰道、濱島京子、佐藤嘉彦

欠席委員（敬称略）：遠藤敦、大辻茂雄

事務局：大塚輝人、清水尚憲、遠藤雄大

配布資料

- ①令和7年度開催概要
- ②利益相反自己申告書（令和6年度分、43名分）
- ③（所内規程第54号）利益相反審査・管理委員会規程(20160401)
- ④令和7年度利益相反審査一覧
- ⑤利益相反に関する申請書（3件分）
- ⑥研究実施報告・研究成果概要報告一覧（令和6年度分）
- ⑦研究実施報告書・研究成果概要報告書（15件分）
- ⑧（所内規程第49号）研究倫理委員会規程
- ⑨令和7年度迅速審査一覧
- ⑩迅速審査の申請書類および審査結果通知書（9件分）

1. 開会挨拶：瀬尾委員長より

2. 利益相反自己申告書の確認（令和6年度分）

- 委員長より、清瀬地区研究員43名から提出された全ての利益相反自己申告書について、経済的利益に関する自己申告「無」と回答されており、利益相反の問題はないと判断する旨の見解が述べられた。これに対して異議は出なかった。

3. 利益相反に関する審査

- 事務局より、下記3件の申請について概要が説明された。

受付番号	申請者	課題名
R7-B1	吉川直孝	諸外国における外国人労働者への安全衛生教育の実施手法及び我が国での実効可能性に関する研究
R7-B2	西脇洋佑	爆発・火災による労働災害防止に必要な化学物質危険性情報の明確化のための研究
R7-B3	平岡伸隆	法学的視点からみたAIの活用に伴う現場管理上の課題と現状の労働安全衛生法の法令上の課題の検討のための研究

- 委員長より、3件の申請について、申請書の記載どおり利益相反に該当しない旨の見解が述べられ、

これに対して異議が出なかったことから、3件すべてについて「非該当」と判定された。

- 松原委員より、研究倫理審査委員会が利益相反審査を行う根拠および、その所掌範囲について質問があった。
- 上記の質問に対して、委員長より、倫理審査委員会規定の附則（平成29年5月30日）の2に基づいて、研究倫理委員会が利益相反審査および判定を行っているとは回答された。
- 松原委員より、申請された3件は、利益相反審査が義務づけられている厚労科研の研究課題であるが、研究所で実施されるその他の研究課題についてはどのように対応しているか質問があった。
- 上記の質問に対して、事務局より、研究所では研究代表者に「研究参加者誓約書」の提出が義務づけられているとは回答された。
- 補足：「研究活動における不正行為への対応等に関する規程（機構本部令和4年5月30日規程第18号）第6条の4に誓約の義務が、「研究活動における不正行為への対応等に関する達（機構本部令和4年5月30日達第13号）第2条の2に誓約は誓約書提出で行うこととされている。

4. 研究実施状況報告書・研究成果概要報告書の確認（令和6年度分）

- 令和6年度実施の研究（委員会で承認済み）の研究実施状況報告書および研究成果概要報告書を確認した。前者は、研究期間中に年1回、後者は研究終了後の提出が義務付けられている。
- 事務局より、下記のとおり、令和6年度に実施された研究15件すべての報告書が提出されていることが説明された。

受付番号	申請者	課題名	研究期間（年度）
R5-安1	崔光石	産業用フレキシブルコンテナの静電気危険性および防止対策に関する研究	令和6～令和9
R5-安2	角田博代	危険性に係る化学物質管理について中小規模の製造業事業場の実態調査（アンケート）	令和5～令和7
R5-安3	平岡伸隆	高齢労働者に係る死亡災害の発生要因と傾向の分析	令和5～令和8
R5-安4	大塚輝人	第14次労働災害防止計画の検証等事業に付随する調査分析	令和5～令和9
R5-安5	和崎夏子	内在的および外在的な要因による不注意が跨ぎ動作に与える影響	令和5～令和7
R5-安6	島田行恭	化学物質の危険性に対するリスク管理の取組状況に関する意見交換	令和5～令和7
R5-安7	吉川直孝	諸外国における外国人労働者への安全衛生教育の実施手法及び我が国での実効可能性に関するヒアリング調査	令和6～令和8
R5-安8	羽鳥康裕	一貫しない視触覚情報に基づく触覚感度調整に寄与する循環応答	令和6
R6-安1	高橋弘樹	建設工事における重量物の支持を行う仮設物の安全対策に関する研究	令和6
R6-安2	日野泰道	墜落に起因する身体外傷の発生可能性と発生部位に関する研究	令和6～令和8

R6-安 4	谷部好子	転倒災害のリスクと防止に対する労働者の意識	令和 6～令和 8
R6-安 5	谷部好子	時間という認知枠組みへの天変地異による影響	令和 6
R6-安 6	羽鳥康裕	見通しの悪い曲がり角における歩行動作の計測	令和 6～令和 7
R6-安 7	高橋明子	AI ゲームマスターを活用した林業安全ゲームの効果検証	令和 6～令和 7
R6-安 8	山際謙太	無線操作が可能な天井クレーンの日本国内における設置状況の調査と安全性の分析	令和 6

- 事務局より、一部の研究において、研究対象者に危険・不利益（ヒヤリハット含む）が生じ、適切な対応措置が講じられたことが報告されていることについて説明された。
- 委員会として、報告書の内容を基に適切に研究が実施されていると判断した。
- 委員長より、報告書の提出を課す目的は、倫理審査委員会で承認された研究が適切に実施されていることの確認であり、申請書からの変更や問題となった事項のみを詳細に記述し、それ以外は簡潔に報告すべき（選択肢のチェックのみ等）との意見が述べられた。
- 畠中委員からも、研究に変更が生じた場合には、変更点について詳細な報告が必要との意見が述べられた。
- 委員長より、リスクが増加する方向への変更については、研究計画変更の申請が必要である旨の意見が述べられた。
- 事務局より、研究計画の軽微な変更については、迅速審査で対応している旨の補足がされた。

5. 研究倫理審査：迅速審査結果の承認

- 事務局より、前回の委員会以降に審査された下記の迅速審査 9 件（初回申請 8 件、研究計画の一部変更に関する申請 1 件）について、事務局より研究概要と審査結果の説明がされ、異議なく承認された。3 月 4 日時点で、迅速審査 R7-安 7 が審査中であり、その結果は次回委員会において報告される。

受付番号	申請日	申請種別	課題名	申請者	審査結果
R7-安 1	2025/4/1	初回	荷役作業時における場の管理者による労働災害防止対策に関する研究	大西明宏	承認する
R7-安 2	2025/4/9	初回	化学物質に起因する爆発・火災等の労働災害の原因分析に関する研究	西脇洋佑	承認する
R5-安 2 (変更)	2025/5/1	一部変更	危険性に係る化学物質管理について中小規模の製造業事業場の実態調査(アンケート)	角田博代	承認する
R7-安 3	2025/6/12	初回	3次元姿勢推定アルゴリズムを用いた腰痛リスク評価アプリケーションの評価精度の検証	平内和樹	継続審査→承認する
R7-安 4	2025/9/29	初回	突発的な反力減少による姿勢バランス喪失経験後の力の発揮戦略の変化と姿勢安定化戦略の関係の解明	平内和樹	継続審査→承認する
R7-安 5	2025/10/20	初回	労働者死傷災害の重篤度に関する多変量解析	吉川直孝	承認する
R7-安 6	2025/11/25	初回	ウェアラブルデバイスを用いた社会福祉施設の典型作業識別手法と動作区間の同定方法に関する実験的検討	平内和樹	継続審査→承認する

R7-安 8	2026/2/3	初回	協働ロボットの利用実態のアンケート調査	齋藤剛	継続審査→承認する
R7-安 9	2026/2/9	初回	保護帽着用の有無と障害発生リスクの関係に関する研究	日野泰道	承認する

6. その他の議題、事務連絡等

- 委員長より、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の一部改正（令和 8 年 3 月下旬に交付予定）について情報共有が行われた。主な変更点は、多機関共同で実施される侵襲・介入研究について、一の倫理審査委員会による一括審査を推奨とすること等である。

7. 委員長総括

瀬尾委員長が総括を行った。

以上